

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	豊川市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	豊川市の文化遺産を活かした地域活性化プラン		
4 実施計画期間	平成 28 年度 ～ 平成 29 年度		
5 実施計画の概要			
<p>本市では、第6次豊川市総合計画（平成28年3月策定）における「教育・文化」の施策の中で「文化財の保護、保存と活用」、第2期豊川市教育振興基本計画（平成29年3月策定）において「文化遺産の継承と新たな文化の創造」などを掲げている。これらを踏まえ、市内の伝統文化の次世代継承や文化遺産の公開活用促進による地域活性化を推進するため、愛知県指定無形民俗文化財の牛久保の若葉祭に関連した下記の取組を実施する。</p> <p><文化遺産の保存継承事業></p> <p>◎牛久保八幡社例大祭の保存伝承と地域活性化事業（下記の4つの事業を計画）</p> <p>(1)牛久保八幡社例大祭の保存伝承のための映像記録事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 牛久保の若葉祭上若組大山車の修理事業や祭礼の状況を記録映像として作成し活用する。併せて普及版映像も作成してインターネットを活用し情報発信を行う。 <p>(2)牛久保八幡社例大祭の保存伝承のための大山車修理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 牛久保の若葉祭上若組大山車の劣化部分の修理を行い、今後の祭礼継続のための条件整備を行う。 <p>(3)牛久保八幡社例大祭の保存伝承のための体験事業（補助対象外事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> 牛久保の若葉祭で行われる祭礼芸能の体験事業を、祭礼に参加する4地区の会所等で祭礼前に行き、次世代への継承を図る。 <p>(4)牛久保小学校伝統文化継承事業（補助対象外事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> 牛久保小学校5年生の総合学習を牛久保の若葉祭をテーマとし、その中で祭礼における芸能を地元の保存団体のメンバーから習い、その成果を学習発表会で地元の方々に披露することにより、次世代の祭礼文化への意識啓発を図る。 <p>*自主財源、民間団体実施事業は、10その他事業欄を参照。 *豊川市の文化遺産を活かした地域活性化プランの全体計画については、別添資料を参照。 *第6次豊川市総合計画、第2期豊川市教育振興基本計画（該当部分の抜粋）は別添のとおり。</p>			
6 実施体制			
<p>豊川市が、本実施計画に係る全体の企画調整や、各補助事業に係る指導等を行う。主な担当課、役割は下記のとおり。</p> <p>教育委員会生涯学習課：事業全体の企画 産業部商工観光課：観光業務に関する連携等</p> <p>また、補助事業は次の団体が実施する。 豊川市文化遺産活用実行委員会 構成団体（豊川市文化財保護審議会、伝統文化保存団体、豊川市）</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 13,577 千円	平成29年度申請額： 6,079 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<ul style="list-style-type: none"> 大山車修理により、牛久保の若葉祭の今後の継続のための条件整備が進む。 映像記録（DVD）を作成することにより、大山車修理事業の記録が図られるとともに、動画共有サイトでの公開・貸し出しにより祭礼文化継承のすそのが拡大される。 大山車修理や映像記録の活用により、地元住民の祭礼に対する関心が高まり、地域の活性化に繋がる。 その他事業も含めた各種事業を有機的に展開することにより、市域に存在する文化遺産に対する市民の関心や意識の向上が期待でき、市全体の地域の活性化に繋がる。 			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	天平ロマンのタバ（平成29年9月中旬予定、於：三河国分尼寺跡史跡公園、事業者：豊川市） 史跡公園ボランティアガイドと協働で、公園内に万灯に見立てたロウソクを照らし、民俗芸能の演舞や演奏会などを行う。		
事業概要：	赤坂の舞台伝統芸能公演（平成29年10月上旬予定、於：赤坂の舞台、事業者：豊川市） 明治時代の農村舞台の姿を今に残す「赤坂の舞台」（市指定有形民俗文化財）を会場に、金沢歌舞伎（市指定無形民俗文化財）ほかによる伝統芸能公演を実施。		
事業概要：	赤坂の舞台小屋掛け技術保存継承事業（平成29年8月～10月、於：赤坂の舞台、事業者：小屋掛けの会、豊川市） 赤坂の舞台伝統芸能公演における特設観客席である、竹と丸太を用いてドーム状の屋根を形作った小屋掛けの設営を行い、平成18年に地元有志で復活した小屋掛け技術の保存継承を図る。		
事業概要：	月見の宴（平成29年10月中旬予定、於：伊奈城趾公園、事業者：伊奈コミュニティ推進協議会） 地元住民らにより、伊奈本多家の居城跡である伊奈城趾公園を篝火やロウソクで照らし、戦国具足弓隊実技、芸能の演舞や演奏会などを行う。		

事業概要：	御油のマツ並木保護事業（通年、於：御油のマツ並木、事業者：御油松並木愛護会、豊川市） 国指定天然記念物御油のマツ並木の保護を図るため、古木の樹勢回復作業や苗木の補植作業を地元住民らによる御油松並木愛護会と協働で行う。
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等	
第6次豊川市総合計画において歴史文化基本構想策定の方向性が示されており、今後事業化に向けた計画を検討していく予定。	
12 担当部局	
地方公共団体 担当部局課	豊川市教育委員会生涯学習課

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分1：	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分1：	祭礼行事への参加住民数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標1：	牛久保の若葉祭における祭礼芸能新規経験者数			関連事業：	①②	
目標値1：	平成 28 年度 6 人 ⇒ 平成 29 年度 6 人					
設定根拠1：	補助事業実施の効果として、新たな祭礼芸能の担い手の参加者数を測る。祭礼前に行う保存伝承のための体験事業の新規参加者の目標値（1年で8人、様式2-1参照）の4分の3が祭礼本番での芸能を新たに経験することを毎年度の目標値とする。					
進捗状況1：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
人	人	人	6 人	人	人	
目標区分2：	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分2：	祭礼行事への参加住民数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標2：	祭礼芸能の参加者数			関連事業：	①②	
目標値2：	平成 28 年度 100 人 ⇒ 平成 29 年度 100 人					
設定根拠2：	補助事業実施の効果として、芸能従事者数の維持度合いを測る。祭礼芸能の参加者数について、平成27年度の参加者数96をベースに、年度毎に100人の参加を目標とする。					
進捗状況2：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
人	人	人	102 人	人	人	
目標区分3：	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分3：	祭礼行事への参加住民数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標3：	牛久保小学校伝統文化継承事業体験児童の祭礼への参加者数			関連事業：	①②	
目標値3：	平成 28 年度 20 人 ⇒ 平成 29 年度 20 人					
設定根拠3：	牛久保小学校で行う伝統文化継承事業（補助対象外事業）において祭礼芸能を体験した5年生児童が、祭礼当日に参加する取組を実施している。祭礼芸能の次世代への継承度合いを測る一つの手法として、この取り組みにおける児童参加者数を指標とし、年度毎に20人の参加を目標とする。					
進捗状況3：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
人	人	人	23 人	人	人	
目標区分4：	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分4：	地域に誇りを感じる住民の割合 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標4：	事業実施により地域により誇りを感じるようになった住民の割合			関連事業：	①②	
目標値4：	平成 28 年度 35 % ⇒ 平成 29 年度 36 %					
設定根拠4：	補助事業実施の効果として、地域により誇りを感じるようになった住民の割合を測る。平成28年度実施アンケートの類似設問で得た数値を基準とし、1年度で1%の増加を目標とする。					
進捗状況4：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
%	%	%	35 %	%	%	

様式 1 - 1 別紙②

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	牛久保八幡社例大祭の保存伝承のための映像記録事業	実施団体：	牛久保上若組春の例大祭保存継承実行委員会		
事業区分：	記録作成	事業期間：	平成 28 年度	～	平成 29 年度
事業概要：	牛久保の若葉祭大山車の修理事業や祭礼の状況を記録映像として作成。併せて同内容の普及版映像を作成。				
評価指標区分：	・記録映像の貸し出し（又は利用）回数等			（具体的な指標は次のとおり）	
具体的な指標：	普及版映像の動画共有サイトでの再生回数				
目標値：	平成 28 年度	未実施	⇒	平成 29 年度	1,000 回
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成	年度	平成	年度	平成	年度
	回		回		回
事業②：	牛久保八幡社例大祭の保存伝承のための大山車修理事業	実施団体：	牛久保上若組春の例大祭保存継承実行委員会		
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 28 年度	～	平成 29 年度
事業概要：	牛久保の若葉祭で曳航される大山車の劣化部分の修理を行い、今後の祭礼継続のための条件整備を進める。				
評価指標区分：	・その他			（具体的な指標は次のとおり）	
具体的な指標：	定期的実施している祭礼に関する地元学習会の参加者数				
目標値：	平成 28 年度	130 名	⇒	平成 29 年度	136 名
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成	年度	平成	年度	平成	年度
	名		名		名
			130 名		